

発刊にあたって

学長 今小路 覚 瑞

相愛学園が現在の地に、親鸞聖人の御信念を女子教育の宗教的情操教育の基盤として創立されたのは、明治二十一年である。爾来この建学の精神は、如何に世相が変転しようとも、一毫のゆるぎもなく伝統され今日に及んでおり、且つまた将来にも変ることはあり得ない。

然し、学園の外相は大きく変化発展を遂げてきた。その間、戦災のため存亡の危機を経たこともあったが、その災厄をのり越えて、現在では四年制の女子大学（音楽学部）、女子短期大学（国文科・家庭科）、高等学校（普通科、音楽科）及び中学校を経営し、附設事業として子供の音楽教室を設けて、戦前の学園の数倍の子女の教育活動を活潑に行つて、大阪を中心として社会への教育奉仕に専念している。

そして、今年はその年輪を重ねて八十周年を迎えることが出来たのは、吾等のこの上ない悦びであると同時に、未来に向つて弥々強く前進する責務と勇気とを痛感する次第である。

茲に、この八十周年を記念するため、従来毎年刊行されてきている相愛女子大学・女子短期大学研究論集を記念号として特集発刊し、大方諸賢の御高批を希うことにした。